

せったん

第183号 2019年9月25日

● 兵庫県保険医協会北摂・丹波支部
〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31
神戸フコク生命海岸通ビル5階
● 行 TEL078-393-1801 FAX 078-393-1802

北摂・丹波支部ニュース



阿江先生が医療と福祉の役立つ制度について解説した



阿江先生は講演の冒頭、3年前に加東市で起こっ

た、82歳の夫が79歳の重度認知症の妻の介護に疲れ果て、殺害したという介護殺人事件について紹介。介護保険を利用していたが、経済的な負担から十分な利用ができなかったことが事件の背景にあったとした。そして、通所介護や短期入所の利用で介護負担の軽減、特別障害者手当(月額2万6260円)の受給、身体・精神の障害者手帳の

第31回支部総会を開催

患者さんに役立つ

福祉医療制度の知識が重要

北摂・丹波支部は7月20日、三田市・キッピーモールで第31回支部総会を開催。2018年度活動報告と19年度活動方針を承認し、森下順彦支部長ら支部役員と協会評議員、予備評議員の改選を行った。また、支部総会に合わせて市民公開企画「患者さんの負担軽減のために!知って得する医療・福祉の役立つ制度」を開催。神戸女子大学講師の阿江善春先生が、福祉制度について解説した。医師、歯科医師、医院スタッフ、患者・家族ら45人が参加した(左に活動方針、支部役員一覧を掲載)。

減、特別障害者手当(月額2万6260円)の受給、身体・精神の障害者手帳の



45人が参加して、福祉制度活用のポイントについて学習した

取得による医療費自己負担と保険料の軽減などの制度を使っていれば、事件は防げた可能性が高いと解説し、本人に限らず、周囲の人間、医療従事者がこれらの制度について深く知っておくことが重要だとした。

続いて阿江先生は、利用可能な制度について、「3福祉+公的扶助+5保険」と覚え方を紹介。3福祉と5保険はそれぞれ、高齢福祉、障害福祉、児童福祉と、医療保険、年金保険、雇用保険、労災保険、介護保険であり、これをつなげることで多くの当事者を助けられるとした。そして3福祉+公的扶助は5保険よりも上位にあることなど、制度利用に当たってのポイントについて詳細を解説した。

兵庫県保険医協会 北摂・丹波支部 2019年度活動方針

- 1、会員のニーズに応じたテーマでの研究会・会員懇談会を開催する。
- 2、職員接遇研修会を開催する。
- 3、医療安全管理対策研究会を開催する。
- 4、市民公開企画を行う。
- 5、家族・職員も一緒に楽しめる文化企画やレクリエーションを企画する。
- 6、地域での医療・介護改善の活動に協力して取り組む。
- 7、幹事会を毎月開催し、医療情勢や支部行事等について論議を深める。
- 8、医科・歯科ともに未入会医療機関に対して支部企画への案内等働きかけを強めるとともに、勤務医対策もすすめる。
- 9、ニュースを定期発行し内容の充実に努める。

兵庫県保険医協会北摂・丹波支部役員(敬称略)2019年~20年度

- 【支部長】 森下 順彦(三田市)
 【副支部長】 武中 睦美(三田市) 安部 治郎(三田市) 中西 透(三田市・歯科)
 【支部幹事】 武本 淑子(三田市) 廣瀬 智(三田市) 木村 忠史(三田市)
 福島 久徳(三田市) 佐埜 勇(三田市) 大槻 栄人(三田市・歯科)
 岡本 晴夫(三田市・歯科) 小寺 修(三田市・歯科)
 福田 隆光(三田市・歯科) 杉本 健郎(丹波篠山市)
 多幡 秀隆(丹波篠山市・歯科)
 増田 耕一(丹波篠山市・歯科) 水野 良司(丹波市・歯科)

【支部顧問】 高見 啓二(丹波市)

兵庫県保険医協会役員(敬称略)2019~20年度

- 【理事】 森下 順彦 中西 透
 【評議員】 安部 治郎 武本 淑子
 大槻 栄人 小寺 修 福田 隆光 水野 良司
 【予備評議員】 福島 久徳

歯科会員懇談会 ご案内

兵庫県保険医協会北摂・丹波支部&歯科部会

日時 **10月19日(土)** 午後6時15分~8時30分
 会場 **三田市総合福祉保健センター 1階**(三田駅より西へ徒歩15分、無料駐車場有)
 参加費 **無料**

講演(6時15分~) **「全身疾患と歯科治療**
~健診データ・お薬手帳を活用する~

尼崎中央病院 歯科口腔外科部長 **佐々木 昇 先生**

日本では人口の高齢化が待たなしで進んでいます。また医療の発達は有病者人口の増加にもつながっています。何らかの持病を抱えて歯科を受診する患者さんは確実に増えています。安全な歯科治療を提供するためには、患者さんの全身状態を理解し、他科から処方されている薬剤についての知識をもっていることが必要不可欠です。また近年よく叫ばれる医科歯科連携を有機的なものとするためには、歯科医師は医師の語る医科的事項を正しく理解し、歯科的事項を医科ベースで語らなければなりません。そのための第1歩として、検査データの解釈や薬の知識についてお話しします。【佐々木記】

話題提供(7時50分~) **「最近の指導での指摘事項と、P治療の流れ」**

協会副理事長 伊丹市・かわむら歯科 **川村雅之 先生**

最近の個別指導での主な指摘事項からルールの再確認や、ご質問の多いP治療の流れ、SPTの活用等について、協会副理事長の川村雅之先生が話題提供を行います。ご質問やご意見等お気軽にお寄せ下さい。

歯科衛生士をはじめスタッフの皆様もお気軽にご参加下さい。
 協会未入会の先生は、入会の上ご参加下さい(入会金なし、月会費は歯科開業医5000円、勤務医3000円)。
 お問い合わせは、歯科部会まで **TEL078-393-1809 FAX078-393-1802**

兵庫県保険医協会 歯科会員懇談会 (10/19) 参加申込書

医療機関名 _____ 会場地図(要 不要) _____
 参加者氏名 _____ (職種 _____) 電話 _____

「保険でより良い歯科」署名にご協力を

⇒保険でより良い歯科署名



保険でより良い歯科治療を実現するために、協会は「保険でより良い歯科医療を求める請願署名」に取り組んでいます。患者窓口負担割合の引き下げや歯科医療費総枠の拡大を求めるもので、1万5千筆が目標です。

請願項目は、「お金の心配をせず、歯科治療が受けられるよう、窓口負担割合を引き下げてください」「保険のきく歯科治療を増やしてください」「歯科医療の充実に必要な費用は国の責任で確保してください」の3点。

医科・歯科一体となって医療制度の改善と診療報酬プラス改定を勝ち取るため、署名にぜひご協力をお願いします。

歯科署名のご注文・お問い合わせは、TEL 078-393-1809 歯科部会まで

こども医療費助成と福祉医療パンフレット(無料)をご活用ください

⇒こども医療費助成と福祉医療パンフレット



県下全41市町の福祉医療助成制度についてまとめた「こども医療費助成と福祉医療パンフレット」が完成しました。

福祉医療制度は、地方自治体が住民の健康保持・増進のため、子どもや母子家庭、重度障害者、高齢者など社会的、経済的に弱い立場にある患者の医療費窓口負担を独自に軽減する助成制度です。「こども医療費助成」では、中学3年生を超えて高校3年生まで助成する市町は1市2町(宍粟市、市川町、福崎町)が増えて10市町に拡大しました。パンフレットは無料でお届けします。待合室に、スタッフへの教育に、ぜひご活用ください。

パンフレットのご注文・お問い合わせは、

TEL 078-393-1807 政策運動広報委員会まで